



Tokyo Camii
Diyadin Turkish Culture Center
東京ジャーミイ・ディヤディントルコ文化センター



THE PRESIDENCY OF
RELIGIOUS AFFAIRS
トルコ共和国宗務庁

せかい へ の じひ、よげんしゃ ムハンマド (saw)

そんけい すべき ムスリム の みなさま！

じんるい は、わたしたち の よげんしゃ (saw) を とおして じひ を しりました。よくあつ とくやみに しはい された じだい、じひ の よげんしゃ (saw) は たいよう の よう に のぼりました。**وَمَا أَرْسَلْنَاكَ إِلَّا رَحْمَةً لِّلْعَالَمِينَ**「そして われら が あなた [ムハンマド] を つかわした の は、ただ しよせかい への じひ の ため に ほか ならない」¹という ぜん の う の アッラー の ごめいれい に したがひ、かれ は にくしみ と うらみ、てきい を、あい と おもいやり、そして じひ へと かえました。おそれて ふるえながら はなしかけてきた ひと には、こう いいました——「だいじょうぶ、おちついて ください。ほんとう に わたし は、ほした にく を たべる じよせい から うまれた むすこ に すぎない の です から。」² こうして、ひとびと に けんきよさ を おしえた の です。

よげんしゃ (saw) によって、かぞく には やすらぎ が もたらされました。ぜん の う の アッラー の ごめいれい に したがひ、かれ は あい と じひ、したしみ と やさしさ、しんらい と せいじつ を もって かぞく を きずきました。かぞく の だれ に たいして も、つめたく あたる こと も、きびしい ことば を はく こと も、きずつける こと も けつして ありません でした。「**ここに とめなさい！ あなた が じぶん の つま に たいして けんり を もっている よう に、あなた の つま も あなた に たいして けんり を もっている の です**」³ と つげる こと で、そがい され、かるんじられ、じんけん も しゃかいてき な けんり も うばわれていた じよせい たち に、ほんらい の かけ を とりもどさせました。

そんけい すべき ムスリム の みなさま！

よげんしゃ (saw) によって、こどもたち は あい を しりました。アッラー の しと (saw) は、かつて はじ と され、いきうめ に さえ されて いた しょうじよたち を まもり、せわ し、そだて、ただしく みちびいた もの には らくえん が やくそく されている と きつぽう を つたえました ⁴。よげんしゃ (saw) によって、わかものたち は かけ ある そんざい と されました。アッラー の しと (saw) は、つねに わかものたち を しんらい しました。かれら の いけん を そんちよう し、じしん と じかく を あたえ、それぞれの せいかく と のうりよく に おうじて せきにん を たくした の です。

しんあい なる しんこうしゃ の みなさま！

よげんしゃ (saw) によって、ねんちようしゃ は うやまわれる そんざい と なりました。こうき な よげんしゃ (saw) は、こう かたっています。「**ねんちようしゃ を、その ねんれい ゆえ に うやまう ひと。その ひと が としおいた とき、アッラー は、その ひと を うやまう もの を そなえて くださる**」⁵。こうして、ねんちようしゃ への きづかい と やさしさ、そして しんせつ を おしえられました。

よげんしゃ (saw) によって、おや を うしなつた こどもたち も、しいたげられた ひとびと も よろこび を みいだしました。アッラー の しと (saw) は、ひとさしゆび と なかゆび を あわせて しめし ながら、こう かたりました。「**おや を なくした こ を せわ する もの は、この よう に —— わたし と とも に らくえん に いる でしょう**」⁶。こうして、おや を うしなつた こども を まもり、その けんり を たいせつ に する もの は、らくえん で よげんしゃ (saw) に もつとも ちかい もの に なる、と きつぽう を つげられた の です。

そんけい すべき ムスリム の みなさま！

ホトバ の ぼうとう で ろうどくした ハディース の なか で、アッラー の しと (saw) は こう のべて おられます。「**じぶん の りようしん、こども、そして すべての ひとびと より も、わたし を あいする よう に ならない かぎり —— あなたがた の うち だれ ひとり として、ほんとう に しんこう している と は いえない**」⁷。じつに、わたしたち の いだい な せんじんたち は、アッラー の しと (saw) を じぶん の いのち より も たいせつ に していました。きょう、わたしたち に かせられている の は、アッラー の しと (saw) への あい で こころ を むすび、かれ が もたらした じひ の かげ によって たましい を ひとつ に し、きずな と れんたい への よびかけ に こたえて、しん の きょうだいしまい と なる こと です。

こんしゅう の ホトバ を、よげんしゃ (saw) の つぎ の ちゅうこく を もって おわります。

「たがいに ねたん では ならない。たがいに せ を むけては ならない。たがいに にくしみ や うらみ を いだいては ならない。アッラー の しもべたち よ、どうほう で ありなさい！」⁸

¹ Anbiya, 21/107.

² Ibn Majah, At'imah, 30.

³ Tirmidhi, Rada', 11.

⁴ Abu Dawud, Adab, 120-121; Ibn Hanbal, III, 96.

⁵ Tirmidhi, Birr, 75.

⁶ Bukhari, Talaq, 25.

⁷ Bukhari, Iman, 8.

⁸ Bukhari, Adab, 57.